


# 品質文化醸成に関する 教育研修の進捗 (教育研修部会 中間報告)

- スケジュールと各回の概要
- アンケート結果から見える変化


2026年2月20日  
記者説明会  
品質委員会

- **スケジュールと各回の概要**
- アンケート結果から見える変化



**日本ジェネリック製薬協会**  
品質委員会 教育研修部会

**講義/グループワーク(GW)のテーマ**



**東京理科大学**  
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

---

- ① **品質文化概論、想定課題に基づく品質文化醸成施策（2025年 3,5月）**  
醸成施策は教育訓練や意識改革だけではなく、課題解決を目的とした多面的な取り組みであることを理解する
- ② **ありたい姿の言語化と目標設定（2025年 7,9月）**  
ありたい姿の言語化と現場での取り組み目標設定の手法を習得する
- ③ **モチベーション（2025年 11月, 2026年 2月）**  
モチベーション向上の実践方法を習得する
- ④ **コミュニケーション（2026年 3,6月）**  
コミュニケーション円滑化の実践方法を習得する
- ⑤ **自社への展開と“壁”への対策（2026年 7,9月）**  
取り組みに対する壁を越えるための施策を習得する
- ⑥ **成果共有と振り返り（2026年 11月, 2027年 1月）**  
研修で学んだことを整理して成果物を取りまとめる。各社の取り組みを共有する

1

## <日程>

		日時	形式
テーマ①	第 1 回	2025.3.4	講義
	第 2 回	2025.5.20	GW
テーマ②	第 3 回	2025.7.22	講義
	第 4 回	2025.9.16	GW
テーマ③	第 5 回	2025.11.18	講義
	第 6 回	2026.2.3	GW
テーマ④	第 7 回	2026.3.24	講義
	第 8 回	2026.6.2	GW
テーマ⑤	第 9 回	2026.7.28	講義
	第 1 0 回	2026.9.29	GW
テーマ⑥	第 1 1 回	2026.11.24	講義
	第 1 2 回	2027.1.19	GW

(GW:グループワーク)

## ① 品質文化概論、想定課題に基づく品質文化醸成施策 (2025年 3月4日, 5月20日)

- ▶ **講義**：品質文化概論、品質文化評価ツールの改良版、品質文化醸成の事例紹介
- ▶ **GW**：想定課題に基づき、持ち寄った品質文化醸成施策について討論することで、理想的な品質文化醸成活動の具体的なイメージを得る。
- ▶ **目的**：品質文化の基礎知識と醸成方法を学ぶ。GWでは、想定企業における理想的な醸成施策を考えることを通じ、醸成施策は教育訓練や意識改革だけではなく、課題解決を目的とした多面的な取り組みであることを理解する。

## ② ありたい姿の言語化と目標設定 (2025年 7月22日, 9月16日)

- ▶ **講義**：前回GW成果物に対する詳細解説、品質文化のありたい姿とは
- ▶ **GW**：各社各職場の「ありたい姿」を持ち寄り討論。「ありたい姿」に対する期待効果、阻害/促進要因を整理し、「ありたい姿」に近づくための組織の目標と個人の行動目標をまとめる。
- ▶ **目的**：「ありたい姿」を自ら言語化することの重要性を理解し、自社に持ち帰れる「ありたい姿」の言語化と目標設定の手法を習得する。

## ③ モチベーション (2025年 11月18日, 2026年 2月3日)

- ▶ **講義**：モチベーション理論編、モチベーション実践編
- ▶ **GW**：管理職と一般職の立場で持ち寄った課題と取り組み事例を共有し、理想的なモチベーション施策案をグループとしてまとめる。
- ▶ **目的**：内発的動機づけの重要性などモチベーションの基礎知識を学び、事例と討論からモチベーション向上の手法を学ぶ。

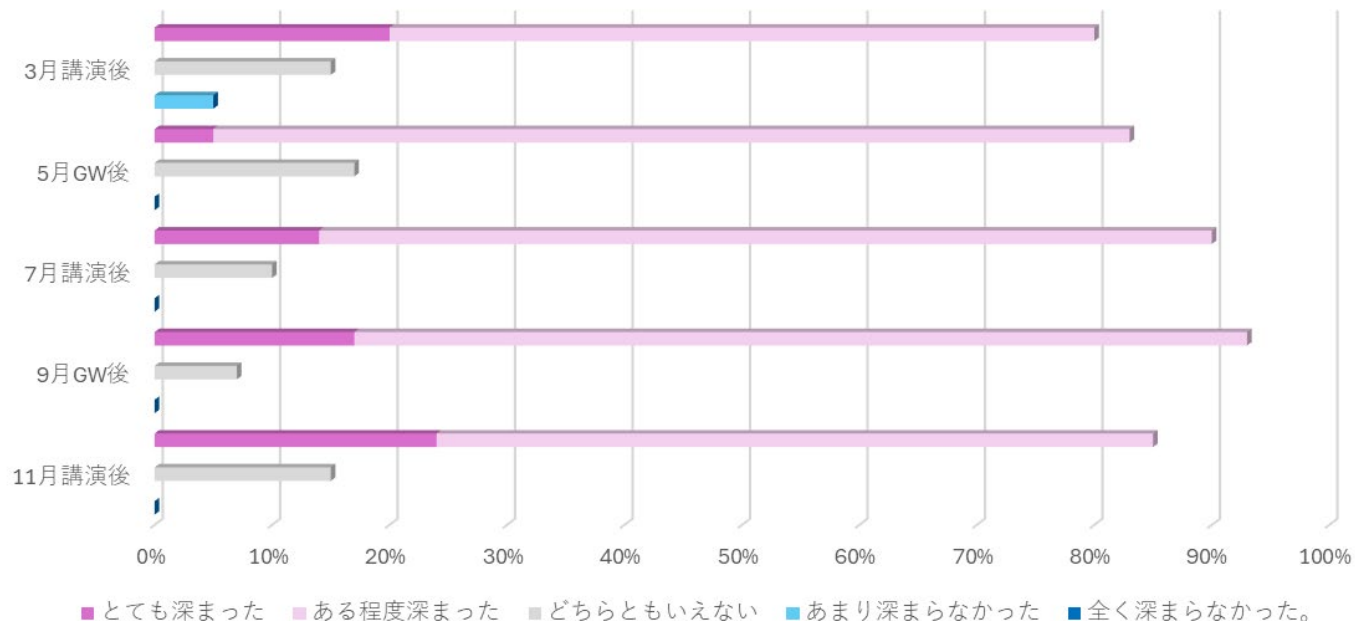
- スケジュールと各回の概要
- アンケート結果から見える変化

# アンケート結果から見える変化（参加者の理解度）

## 「Quality Culture：品質文化」について理解は深まりましたか

	とても深まった	ある程度深まった	どちらともいえない	あまり深まらなかった	全く深まらなかった。
3月講演後	20%	60%	15%	5%	0%
5月GW後	5%	78%	17%	0%	0%
7月講演後	14%	76%	10%	0%	0%
9月GW後	17%	76%	7%	0%	0%
11月講演後	24%	61%	15%	0%	0%

講義・GW後のアンケート結果



- ・テーマ1の概論の講義（3月の講演）以外、消極的な意見はなく、参加者の理解が深まっていることが確認された。
- ・各テーマにて、講義後GWを実施することにより、より理解が深まっていることが確認された。

# アンケート結果から見える変化（各社での情報展開及び活動）

テーマ（講義・GW）終了後、テーマで学んだことの社内展開について各社の活動状況について調査を実施している。

## テーマ1「品質文化概論」で学んだことの社内展開 （3月講義／5月GW）

何も展開していない	8
会社で報告した	24
品質文化醸成活動に取り入れた	9
品質文化醸成活動に取り入れ、その効果が感じられた	0
品質文化醸成活動に取り入れなかった。	0
その他	5

その他；
・9月の全体教育で実施予定
・3月の宿題事項について、工場QA及び本社GQP部門で集まって議論した。
・品質醸成活動に取り入れる予定（準備中）
・上長に報告・相談したが、それから先の展開はしなかった。
・工場内研修で展開した。

- 社内共有（情報展開）
- 活動実施（予定も含む）

※：情報展開・醸成活動の件数には「その他」の記載内容も含めている。

情報展開  
26件

醸成活動  
12件

## テーマ2「ありたい姿」で学んだことの社内展開 （7月講義／9月GW）

何も展開していない	3
会社で報告した	6
経営者・経営陣に報告した	5
上長に報告した	16
「ありたい姿」言語化の取り組みを計画中である	10
「ありたい姿」言語化の取り組みを試験的に一部で実施した	5
「ありたい姿」言語化の取り組みを多くの部署で実施した	6
「ありたい姿」言語化の取り組みをする予定はない	2
その他	4

その他；
・部内全員、部署目標と照らし、ありたい姿を策定した
・社内品質活動で実施した
・資料を共有した
・前任者の人事異動により今回から参加しているため未確認

情報展開  
28件

醸成活動  
23件

テーマ1は、概論であり、社内での報告展開の必要性を感じず、社内展開及び活動が低調であった可能性があるが、テーマ2ではより具体的な内容になり、社内活動が活発に行われ始めていることがわかる。  
しかしながら、テーマ2の終了後においても「何も展開していない」「取り組みをする予定はない」との回答があることより、個別に状況を確認する。



教育研修部会開催前の事前アンケート及び講義・グループワーク（GW）後のアンケートを実施し、参加者の理解度、意識度、および各社内での意識の変化や活動状況についてモニタリングを行っている。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. どんな活動を行ったらよいかわからない   |
| 2. 品質文化とは何かを理解できていない    |
| 3. 従業員の理解や協力を得ることが難しい   |
| 4. 上位者の理解や協力を得ることが難しい   |
| 5. 醸成活動がマンネリ化している       |
| 6. 活動のために割けるリソースが不足     |
| 7. 部署間での活発さに差がある        |
| 8. 活動の効果、変化が見えにくい       |
| 9. 活動が一過性で定着しない         |
| 10. 部門間／部署間のコミュニケーション不全 |
| 11. 活動を推進する担当者が不足している   |
| 12. 当事者意識がうまく醸成できない     |
| 13. 活動が重荷になっている         |
| 14. 活動自体が目的化している        |
| 15. 活動による無駄や負荷が増大している   |
| 16. 活動のゴールや指標が設定できていない  |

## 【その他 自由記載のアンケートとして】

➡講義の方向性や内容について、改善を図るため。

## （事前アンケートの質問）

あなたの会社の品質文化醸成活動に課題がある場合、どんな課題があるか、お答え下さい。（複数回答可能）

全ての項目で、改善傾向は確認でき、**研修内容を取り入れ実践した企業からは組織の活性化を示唆する声が上がっている。**一方、**当該活動へのリソース不足や組織の優先順位により、活動が進んでいない**企業があることも推測される。

➡教育研修部会員は各企業の教育責任者及び担当者に実施しているが、**各社が社内で効率的に取り組めるようにサポート体制を構築するための施策**を実施していく。